


# 一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成27年11月17日

山北町議会議長 府川輝夫 殿

|   |                       |      |    |       |   |
|---|-----------------------|------|----|-------|---|
| 受付番号  | 第5号                   | 質問議員 | 5番 | 原 憲 司 |  |
| 件名  | 定住促進による未来に残せるふるさとづくりを |      |    |       |   |
| 要 旨   |                       |      |    |       |   |
| <p>当町の人口は、平成27年10月1日現在で、男性5,458人、女性5,733人の合計11,191人であり、昨年の10月1日より男性が108人、女性が140人の計248人が減少しています。</p> <p>また、人口減少が進む中で65歳以上の高齢者は、平成26年10月1日現在3,762人で全体の32.9%を占め、平成40年には44.1%を見込んでいます。併せて、若い世帯の居住者が減り、0歳～11歳までの児童数は、平成26年4月1日現在821人で全体の7%であり、さらに少子高齢化が進んでいます。</p> <p>こうした現状の中で、将来の山北町が人口が減少した過疎の町ではなく、若者から高齢者が住む「笑顔と元気に満ち溢れた活力あるまち」として、これからの若い人たちに未来の夢と希望をあたえ、山北町を愛し、山北町に住みたいと思えるようなまちづくりを推進する必要がありますので、定住促進による未来に残せるふるさとづくりへの取り組みについて質問します。</p> <p>1. 昨年、山北駅北側定住促進住宅サンライズやまきたが建設され、116人、42世帯の方々が入居されました。入居者は転入が23世帯55%で、転居が19世帯45%であり、転入が半数以上を占めるとともに、新婚世帯が6割以</p> |                       |      |    |       |   |

上でありますので、今後、子どもの増加が期待されます。

こうした定住促進事業に係る土地分譲や住宅建設等に積極的に取り組み、定住人口の増加を図り、未来に残せるふるさとづくりに取り組んではどうか。

2. 山北駅から身近な観光拠点は、河村城跡と洒水の滝であります。

河村城跡は、足柄平野から相模湾・富士山が一望することができ、人々の心を動かす自然美豊かな絶景地であります。この自然美を他の市町村等に積極的にアピールを行うことにより、当町へ多くの方が訪れ、町民とのコミュニケーションも深まり、笑顔と元気に満ち溢れた活力あるまちづくりに繋がりますので、山北らしい特徴ある河村城跡として、間伐等の景観整備や展望台等の施設整備を積極的に行い、未来に残せるふるさとづくりに取り組んではどうか。

3. 町内の若者が地元で元気良く働ける場づくりを推し進めるため、都夫良野地区の富士山が一望できる町有地や平山工業団地、高松山などに企業誘致を図り、町内の若者などが地元で元気良く働ける場を確保し、町内に居住していただくことが、定住促進に繋がり、人口増加にも繋がるので、積極的に企業の誘致を図り、未来に残せるふるさとづくりに取り組んではどうか。

4. 今年10月に京都府精華町に視察研修に行ってきましたが、精華町では、福祉の推進として、地域福祉推進の共通理念・基本目標・政策や事業に対する住民参加の促進策、事業の発展策等を住民の視点で一体的に推進しています。

当町は、少子高齢化が進んでいるので、福祉関係の取り組みを行政主体だけでなく、地域でも取り組みを行う地域組織を充実させ、高齢者の生きがいや子育て支援の充実・強化を図り、若い世帯が多く住むまちづくりに繋げ、定住促進による未来に残せるふるさとづくりに取り組んではどうか。

以 上